

●ミラーレンズ800mm F8 DX ●ミラーレンズ500mm F6.3 DX ●ミラーレンズ500mm F8 共通取扱説明書

この度はケンコーミラーレンズシリーズをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。このレンズは反射式光学系を採用することにより、長焦点距離にもかかわらず、コンパクトボディを実現した一眼レフ用望遠レンズです。

ご使用にあたってはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

※ご使用前には必ず裏面の「安全上のご注意」をお読みください。

●ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。●

Kenko 発売元：株式会社 **ケンコー** Kenko Co.,Ltd. Tokyo Japan
ケンコーホームページ <http://www.kenko-tokina.co.jp/>

本社 〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19
■光機営業部 ☎03(5982)2161(代) ■東京営業所 ☎03(5982)1060(代) ■広域販売部 ☎03(5982)1068(代)
大阪営業所 〒540-0005 大阪市中央区上町1-2-13
■大阪光機課 ☎06(6767)2648(代) ■大阪営業所 ☎06(6767)2640(代) ■大阪販売課 ☎06(6767)2652(代)
名古屋出張所 〒460-0008 名古屋市中区栄1-15-6(サカエミヤシタビル1F) ☎052(232)3331(代)
札幌出張所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15丁目1-11(北日ビル第2大通405号) ☎011(613)2176(代)
仙台出張所 〒980-0011 仙台市青葉区上杉3-3-21(上杉NSビル2F) ☎022(211)0180(代)
福岡出張所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-12-3(玉井親和ビル1-H) ☎092(476)5071(代)
●営業時間 月～金曜日(祝日・祭日・年末年始・夏期休暇等は除く) 9時～12時・13時～17時

Ver.2.00.00

1,各部の名称

①フォーカスリング

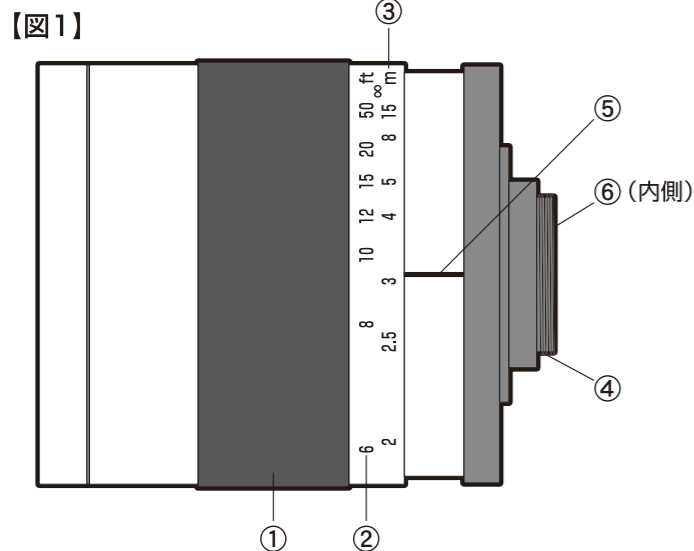
④Tマウント取付部

②距離目盛(フィート表示)

⑤距離目盛指標

③距離目盛(メートル表示)

⑥フィルター取付部



※上図は説明のための略図ですので細部の形状が異なります。

個人情報について

※本保証書を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

2,Tマウントの取付

このレンズはTマウントを使用し、各社一眼レフカメラへ取付をします。

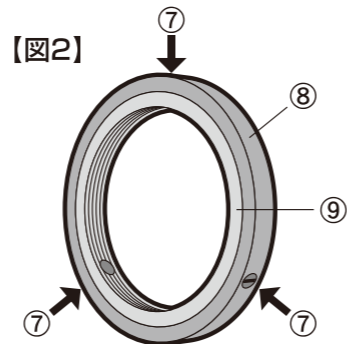
以下の手順に従い、取付を行って下さい。

⑦外周ネジ(3箇所)

⑧外側リング

⑨内側リング

※⑦の外周ネジを緩め過ぎると⑨の内側リングが外れますのでご注意ください。



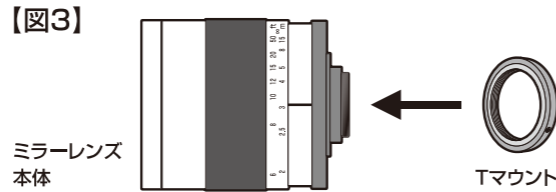
1,図2の⑦Tマウント外周のネジ(3箇所)が締まっているか確認して下さい。

※ネジの締め付けには、市販の精密ドライバーをご使用下さい。

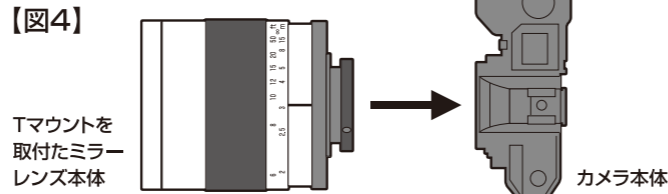
※ネジが緩んだままですと、正常に取り付けることができません。

2,図1の④Tマウント取付部についているキャップを外します。

3,図1の④Tマウント取付部にTマウントをねじ込みます。【図3】



4,Tマウントとカメラボディの指標を合わせ「カチッ」と音がするまで回します。【図4】



レンズをカメラボディに装着した際、距離目盛指標(図1の⑤)が真上にこない場合以下の手順にて調整を行って下さい。

5,図2の⑦Tマウント外周のネジ(3箇所)を軽く緩めます。

※この際緩め過ぎると、Tマウント内側のリング(図2の⑨)が外れる恐れがありますので、緩めすぎに注意して下さい。

6,レンズを回転させ距離目盛指標が真上になるように調整し、図2の⑦Tマウント外周のネジを締めます。

3,セットを要するカメラ

一部のカメラではこのレンズを使用するにあたり、特別な設定が必要となります。以下をご参照の上、必要に応じて設定を行って下さい。

●キヤノンEOSシリーズ

キヤノンEOSシリーズのカメラに本レンズをご使用になる場合、一部の機種ではカメラの機構上、下記の操作が必要になります。

・本レンズを装着した時に、絞り値が"00"と表示される場合:
そのままご使用いただけます。

・本レンズを装着した時に、絞り値に数値(F5.6など)が表示される場合:
絞り値を開放(もっとも少ない数値)にしてご使用下さい。

※ミラーレンズ専用2倍コンバージョンレンズ以外のコンバージョンレンズは使用できません。

●ニコンUシリーズ、F401シリーズ、F50D、F60D、F80D/S、D40シリーズ、D50、D60、D70シリーズ、D80、D100、プロネアシリーズ

上記のカメラに本レンズをご使用になる場合、露出計は使用できないため、撮影モードを「M(マニュアルモード)」にてご使用下さい。

※撮影状況に応じてシャッタースピードを調整する必要があります。

⑧ 基本的に1/125～1/250秒程度でのシャッタースピードの調整が目安となります。
⑨ 詳しくはカメラの取扱説明書(非CPUニッコールレンズについて)をご覧ください。

●コニカミノルタ(ミノルタ)α、DYNAXシリーズ、SONYαシリーズ

コニカミノルタ(ミノルタ)αシリーズ、DYNAXシリーズの一部の機種のカメラに本レンズをご使用になる場合、カメラのレリーズロック(誤使用防止)機能の解除が必要になります。以下に従い、最初に使用する時のみ、レリーズロック機能の解除設定を行って下さい。

レリーズロック機能の解除設定

①カメラのメインスイッチをOFFにします。

②レンズをカメラ本体から取り外し、以下の2つのボタンを押しながらカメラのメインスイッチをONにします。

9xi…ファンクションボタン+AEロックボタン 303si…AVボタン+セルフモードボタン

7xi…ファンクションボタン+AEロックボタン 303si SUPER…ドライブボタン+スポットボタン

5xi…ファンクションボタン+スポットボタン 101si…セルフタイマーボタン+フラッシュボタン

3xi…サービスセンターにて改造済み 360si…セルフタイマー連続撮影ボタン+シーンセレクトボタン
ボディのみ使用可

4,写真撮影について

●手ブレを防ぐために

・このレンズは小型軽量ですが長焦点距離の望遠レンズです。一般に望遠レンズでの撮影では、画角が狭くなり手ブレをおこす確率が高くなります。高感度フィルムを使用して高速シャッターを切るか、しっかりした三脚または一脚を使用して撮影することをおすすめいたします。

⑧ **ヒント** ケーブルレリーズの使用やセルフタイマーでの撮影により確実にブレを回避することができます。その場合は必ずしっかりとした堅牢な三脚をご使用ください。また、ミラーアップ機能のあるカメラであればミラーアップを併用することでさらに確実にブレを防ぐことができます。

●望遠レンズ使用時の撮影条件

・望遠撮影時には拡大率が大きくなるため、大気中の埃や水蒸気などが画質に影響します。シャープな写真を撮影するためには、快晴日が数日続く風の少ない日に、排気ガスや煙突からの煙などの影響を受けにくい場所でご使用いただくことが理想です。

⑧ **ヒント** 夏季の山岳地帯や海岸線ではガスや水蒸気が多く、なかなかシャープな写真を撮影するのは難しいものです。しかし、揺れる大気を通して海原を写したり、モヤに霞む山の稜線を写すなど、悪条件を逆手にとって個性的な作品作りをするのも写真撮影の楽しみの一つです。

●露出の調整

・このレンズは反射式光学系を採用しているため絞りは固定となっています。従って、光量の調節はシャッタースピードを変えることで行ってください。ただし、スローシャッターを切るとブレやすくなりますので高感度設定ないし、高感度フィルム(ISO400以上)をお使いいただくことをおすすめします。

807si…AELボタン+撮影シーンセレクトボタン α-Sweet…セルフタイマー連続撮影ボタン+スポットボタン

707si…カードボタン+スポットボタン α-Sweet S…(ファンクションダイヤルを多重露光にセット)

507si…レンズ交換ボタン+ISOロックボタン Pボタン+セルフタイマーボタン

DYNAX3L…撮影シーン選択ボタン+巻き上げボタン DYNAX30…セルフタイマーボタン+本体左側ダイヤルをOFF位置から回す

α-Sweet II、II L…カスタム機能14にセットし、選択番号を1から2(なし)に変更します。

α-7、α-9、α-9Ti…カスタム機能16にセットし、選択番号を1から2(なし)に変更します。

α-Sweet Digital…以下の操作を行って下さい。

MENU ⇒ *2 ⇒ レンズなしレリーズロック ⇒ 右へ ⇒ なし ⇒ ●実行 ⇒ MENU

α-7 Digital…以下の操作を行って下さい。

MENU ⇒ *3 ⇒ レンズなしレリーズロック ⇒ 右へ ⇒ なし ⇒ ●実行 ⇒ MENU

SONYα100…MENU ⇒ カスタムメニュー2 ⇒ レンズなしレリーズロックをなしに変更

※上記方法でレリーズロック機能の解除を行うと、メインスイッチをOFFにしても解除状態が保たれます。レリーズロック機能を作動させたい場合は、上記操作を再度行って下さい。
※本レンズをα-7及び5000、7000、9000以外のカメラでご使用になる場合、カメラの機構上、+1.5段程度の露出補正が必要になります。予めテスト撮影を行い、ご確認下さい。露出補正の方法はカメラの取扱説明書をご覧ください。

●ペンタックスistDシリーズ

ペンタックスistDシリーズのカメラに本レンズをご使用になる場合、絞りリングの使用設定の解除が必要になります。以下に従い、絞りリングの使用設定の解除を行って下さい。

istD

MENUボタン ⇒ カスタムファンクション ⇒ 「絞りA以外でのレリーズ」をon ⇒ OKボタン2回

istDS、DS2、DL、DL2

MENUボタン ⇒ 「カスタム」メニュー ⇒ 「設定」をon ⇒ 「絞りリングの使用」をon ⇒ OKボタン ⇒ MENUボタン

※上記方法で、絞りリングの使用設定の解除を行うと、メインスイッチをOFFにしても解除状態が保たれます。その場合、通常撮影時に制約を受ける場合があります。詳しくはカメラ取扱説明書の「絞りリングの使用」設定時の注意をご覧ください。

カメラ本体の設定方法、操作方法の詳細は、各カメラメーカーの窓口にお問い合わせ下さい。

・絞り優先AE機能付カメラのほとんどの機種(ニコンの一部機種を除く)で自動露出撮影が可能です(プログラムAE、シャッター優先AEは不可)。レンズを外したカメラボディで絞り優先AEにセットし、明るい場所と暗い場所でシャッターを切った場合に、シャッター速度が異なれば自動露出が可能です。

⑧ **ヒント** このレンズは後部にフィルターを取付けることが出来ます。(図1の⑥) 通常ミラーレンズはレンズ後部にフィルターを取付けます。

⑧ **ヒント** このレンズには電気接点がないため、カメラボディとの間で電気的な信号のやり取りがありません。従って、カメラ側のファインダー表示や液晶画面の表示が出ないことがあります。撮影には特に問題はありません(天体望遠鏡やフィールドスコープをカメラに取付けて撮影しているのと同じ条件になります)。

●ピント合わせ

・このレンズはオートフォーカスには連動しません。ピント合わせはマニュアルフォーカスとなります。フォーカスリングを回してピントを合わせてください。
・望遠レンズでは被写界深度(被写体に対するピントの合う範囲)が浅くなり(ピントが合う範囲が狭くなり)、ピント合わせが難しくなります。しっかりとした三脚または一脚を使用して慎重にピントを合わせるようにしてください。

⑧ **ヒント** 一般に300mm以上の超望遠レンズは無有限遠マーク位置(∞)に余裕をもたせてあります。これは、鏡筒内の温度変化により空気中の光の屈折率が変わるために、ピントの位置が多少移動することがあるためです。したがって、遠景や星空など遠くの物を撮影する場合でも必ずファインダースクリーンの像を確認しながらピントを合わせてください。

5, ミラーレンズ詳細データ

商品名	Kenko ミラーレンズ800mm F8 DX	Kenko ミラーレンズ500mm F6.3 DX	Kenko ミラーレンズ500mm F8
明るさ	F8 (固定)	F6.3 (固定)	F8 (固定)
レンズ構成	8群8枚	6群7枚	6群7枚
最短撮影距離	3.5m	2.0m	1.72m
フィルター径 (レンズ前面フィルター径)	30.5mm (105mm)*	34mm (95mm)*	30.5mm (72mm)*
最大径	φ111mm	φ98mm	φ77mm
長さ	144.5mm	122.0mm	87.7mm
重量	840g	705g	320g

※レンズ前面へのフィルター取付は、レンズ前面中心の反射部(黒い丸の部分)に、フィルターが干渉しないことを事前に確認の上でご使用下さい。

6, 困った時は

「故障かな?」と思ったら、もう一度確認、点検してみましょう。

取付けについて		
症状	原因	対策
カメラに取付けることができない。	・レンズにTマウントを取り付けていない。 ・Tマウントとお使いのカメラのマウントが対応していない。	・レンズにTマウントを取り付け、カメラにセットして下さい。 ・お使いのカメラに対応したTマウントを別途ご用意下さい。【2.Tマウントの取付】 ※お使いのカメラメーカーによっては、複数のマウントが存在します。詳しくは、お使いのカメラメーカーにお問い合わせ下さい。
マウント部ががたつく。	・Tマウント外周のネジ(3箇所)がゆるんでいる。	・市販の精密ドライバーにて、外周のネジをしっかり締めて下さい。【2.Tマウントの取付】
距離目盛指標が真上にこない。	・レンズとTマウント取付位置の調整をおこなっていない。	・Tマウント外周ネジをゆるめ、レンズを回転させ距離目盛指標が真上にくるように調整し、Tマウント外周ネジを締めて下さい。【2.Tマウントの取付】
他のマウントや2倍コンバータが取り付けられない。	・取付方向が間違っている。 ・レンズ側にTマウントの内側リングが取り付けられたままになっている。	・正しい方向で取り付けて下さい。 ・Tマウントの外側リングを再度レンズに取付け、Tマウント外周ネジを締めて、レンズからTマウントを完全に外して下さい。【2.Tマウントの取付】

撮影について		
症状	原因	対策
シャッターが切れない。	・使用前に必要なカメラの設定を行っていない	・【3.セットを要するカメラ】をお読み頂き、撮影前に必要な設定をおこなって下さい。
カメラのファインダー表示や液晶画面の表示が出ない。	・本レンズには電気接点がないためカメラとの電氣的信号通信がないためです	・撮影には問題ありません。
像がぼける。	・撮影時の手ブレ。 ・被写体までの撮影距離が近い。 ・大気中の埃や水蒸気の影響。 ・レンズが汚れている。	・カメラをしっかり固定して撮影して下さい。 ※三脚、一脚の使用をおすすめします。 ・被写体までの距離を離して撮影して下さい。 ・大気中の埃、水蒸気、排気ガス等の影響の少ない所で撮影下さい。 ・柔らかい布でレンズをきれいに拭いて下さい。 【4.写真撮影について】
ズームができない。	・本レンズは単焦点レンズです。	

6, 困った時は

撮影について		
症状	原因	対策
オートフォーカスで使用できない。	・本レンズはオートフォーカスには連動しません。	・フォーカスリングを回し、マニュアルフォーカスにてピント合わせをして下さい。【4.写真撮影について】
露出の調整ができない。	・本レンズの露出は固定です。	・シャッタースピードを変えることによって光量調節をおこなって下さい。【4.写真撮影について】

その他

問題点	回答	備考
他のマウント(メーカー)のカメラで使用したい。	・別売の各種Tマウントを取り付けることにより使用可能です。	・ご使用カメラのマウントを確認の上、お買い求めの販売店にご相談下さい。
フィルターを取り付けたい。	・図1の⑥フィルター取付部にフィルターを取り付ける事ができます。※通常、ミラーレンズはレンズ後部にフィルターを取付けます。	・レンズ前面へのフィルター取付けは、レンズ前面中心部にフィルターが干渉しないことを確認の上取り付けて下さい。
レンズフードを使いたい。	・専用レンズフードのご用意はございません。	
対物側レンズ(被写体側のレンズ)中心の黒いキャップのようなものがはずれない。	・像を反射させるためのレンズ構造の一部です。	・そのままの状態でご使用下さい。
専用2倍テレコンバートレンズ以外のコンバージョンレンズを使用したい。	・動作対象外です。	・カメラの機構上、シャッターが切れない場合があります。ミラーレンズ用2倍テレコンバートレンズ(別売)をご使用下さい。

7, 安全上のご注意 ~安全のため、ご使用前には必ず下記の注意事項をお守りください。~

下記の注意事項では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。

⚠ 警告

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物理的損害が発生する可能性があります。

下記注意事項では、次のような絵表示を使用しています。



は、注意が必要な内容であることを示しています。図の中に描かれているのは注意の内容です。(左図は発火注意)



は、禁止を示しています。図の中に描かれているのは禁止の内容です。(左図は分解禁止)



は、指示を示しています。図の中に描かれているのは、指示の内容です。(左図は注意する旨の指示)

⚠ 警告

⊘ レンズで直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。



⚠ 注意

⚠ レンズをカメラに装着する時は、レンズをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、レンズがはずれなくなったり、はずれて落下し、ケガをしたりするおそれがあります。



⊘ カメラに装着したレンズに無理な過重をかけないでください。
⚠ レンズおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。操作時や移動時には必ずレンズを持つようにしてください。



⚠ 結婚式や海外旅行など大切な写真を撮る時には、必ず事前にレンズをチェックしたり試し撮りをしたりして、失敗を防ぐようにしてください。



⊘ レンズは幼児の手の届くところには置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。



⚠ レンズを改造、変造しないでください。レンズやカメラの故障の原因になります。改造、変造したレンズは修理が受けられない場合があります。



⊘ 日光が直接当たるところにレンズを置かないでください。レンズによって近くの物に集光し、火災が発生するおそれがあります。



⊘ レンズを付けたカメラで、太陽や強い光源を直接見ないでください。視力障害の原因となります。

